

<b>ピリミスルフアン粒剤</b> <b>ベストパートナー 1 キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ  <b>原体メーカー：</b> クミカ
<b>成分：</b> ピリミスルフアン〔スルホンアニリド系〕……………0.67%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

●1成分・低葉量で各種雑草に効果がある水稲用  
初中期一発処理除草剤であり、環境に対する影響  
が少ない。

●ノビエの発生前～3葉期まで高い防除効果があ  
り、田植後にゆとりを持って散布できる。

●カヤツリグサ科雑草に極めて高い効果を持ち、  
3葉期までのホタルイ、ミズガヤツリに卓効を示す。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一  
覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上の  
ポイントを参照。

●雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビ  
エの3葉期までに、時期を失しないように散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出  
るので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
オモダカ コウキヤガラ クログワイ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
アオミドロ・藻類に よる表層はく離	発生前

●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ  
は発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な  
効果を示さないので、必要に応じて有効な前処理  
剤又は後処理剤と組み合わせて使用する。

●直播水稲に使用する場合は注意

○稲の出芽揃期以降に使用する場合には、出芽  
前の稲に対して薬害を生じるおそれがあるた  
め、稲の出芽が揃わない場合は、稲の不完全葉  
期以降に散布する。

○稲の根が露出した条件では一時的に生育抑制  
が生じる場合があるが、回復し苗立ちに対する  
影響は認められていない。

○稲の出芽揃期以降に使用する場合には、除草  
効果が低下するおそれがあるので、入水後、水  
持ちの安定した後に散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬  
害等の注意を参照。

●散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期  
生育が抑制されることがあるが、一過性のもので  
次第に回復し、その後の生育に対する影響は認め  
られていない。

●適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注  
意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）  
への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参  
照。

【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ コウキヤガラ エゾノサヤマカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	1kg	湛水散布	1回 ※
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫45日前まで	0.5kg (少量散布)	は種同時散布 機で散布	
		は種時		落水散布又は ごく浅く湛水 して散布	
		は種直後			

※ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数：2回以内